

協定書の協定切実に其の必要を感ずるものありて日中闘争の機關として無條件の總聯合の促進を希望すると述べて其の討議の結果無條件總聯合の促進が可能なものなりと云ふに力するものと云ふ意味にて決議文を依頼することにして田幸松外田丸 起草委員とする

取寄各動議(提案者) 徳田宗大

別々銅山協議は今や二年に亘り継続中である此の際義捐金を集め送り且つ激勸電報を打つ度と述べて異議無く決定 各委員に委任することなる

(六) 産業別合同促進の件

提案者三田村四郎は産業別合同は各地方の團體の止まり難之又協定の協定に於て其の必要は甚だしく即ち各地方の

全口約産業別合同の促進は地方の行政がなされる時より早めしめること相違なく力して早く是る能はる此の

実現を期し之と述べて決議文を作成することに決意各委員

員一任

野島急動議(提案者) 野島純一郎

本邦も別々時計工場等之等の協定は今迄経営中にある此の機會に於て工場主たる貴族院議員山崎徳次郎に決議文を提出し度と述べて異議無く可決

本澤兼次外二名委員に指名する右終つ別々銅山協定義捐金を協内傍聴席に於て其のりたる結果四十六円三十五角を得たる旨々一電文宛て報告と

起草したるもの報告す